

野村地区まちづくり協議会

地域住民のふれあいで希望と生きがいを持てるまちづくり

2017年

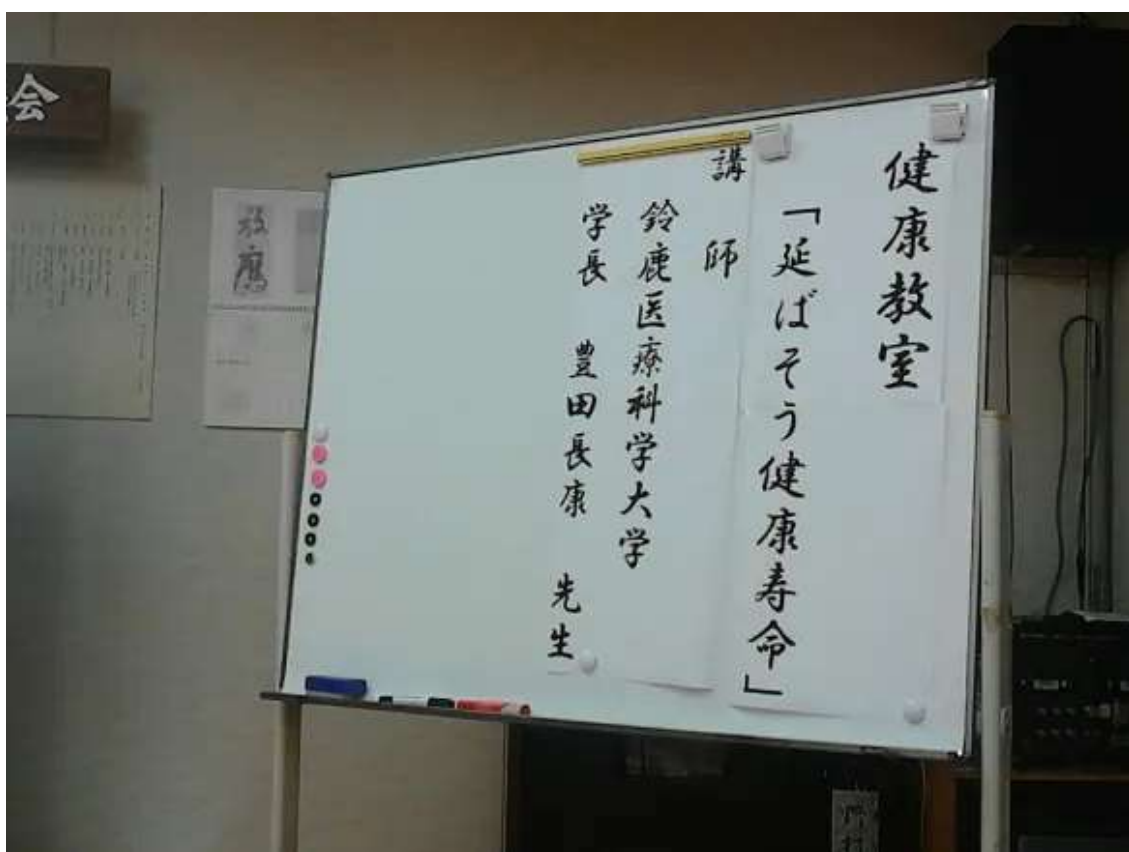
手すりが階段横に取り付けられました。(2月23日)





健康教室

- 開催年月日 平成29年2月16日 13時半～15時
- 開催場所 野村地区コミュニティ
- テーマ 延ばそう健康寿命
- 参加者 80名
- 講師 鈴鹿医療科学大学 豊田長康様
- 鈴鹿医療科学大学の豊田長康学長より、団塊の世代が75歳以上になる「2025年問題」を控え、
- 地域社会はどう取り組むべきかについて講演して頂いた。
- 豊田学長は、「介護が必要にならないように健康寿命を延ばす。そのためには住民、医療関係専門家・介護福祉専門家及び行政が連携していくことが大切である」ことと、地域ぐるみで住民を支え合う体制作りの必要性を説かれた。又、市のホームページの活用法も紹介された。
-



「エンディングノート」書き方の講話会を開催

開催年月日 平成29年2月4日 13時半～15時
開催場所 野村地区コミュニティ
テーマ エンディングノートの書き方
講師 鈴鹿・亀山消費生活センター 堂田様

参加者 44名

今回は防災・防犯部として親が死亡した時に子供同士、親戚同士が争う事がないように生前に皆に伝えておきたいことがあれば遺言代わりに書き留めておき安心して亡くなることができるように「エンディングノート」の書き方についての講話会を開催しました。参加者は40数名が受講しそのうち10名の方は講話会初参加者でありこのテーマがいかに関心が高かったかが伺えます。

講話会の資料、講師の方のお話は大変わかりやすく参加者の声として「よくわかった」、「参考になった」と好評を得ました。

